

令和6年度自己点検と評価

概要

令和6年度の「AI 入門」は、昨年度同様2単位講義で9枠開講された。うち、昨年度よりの懸案であった、授業のオンライン化をすすめ、2枠をオンライン授業とし、受講者定員をなくすことで、大幅に受講者数を増やすことができた(履修者数1078名、終了者数887名)。受講者数増による成績低下が心配されたが、より多くの学生が履修することで学生間の学生アンケートでの学生の満足度も高く、本学におけるデータサイエンスリテラシーの向上に資することができていると考えられる。

「AI 入門」受講者数と受講者増加の取り組み

オンライン授業を増やすことにより履修者が大幅に増加した(昨年度576名→今年度1078名)。これは、本学の入学定員が約1000名であることからすると非常に大きな数値であり、このプログラムがほとんどすべての学生が受講するものとなったことを意味する。

受講者数増による成績低下が心配されたが、誰もが履修する科目となったことで学生間のデータサイエンスにかかわるコミュニケーションが増え、成績の低下は見られなかった。また学生アンケートでの学生の満足度も高く、本学におけるデータサイエンスリテラシーの向上に資することができていると考えられる。

一方で、プログラミング、数学への拒否感から途中で脱落してしまう学生を拾い上げるための施策と、多くの学生が受講することとソーシャル・データサイエンス学部の設置による、学生間の事前知識やモチベーションの差を埋めるための方策が求められる。